

12月
議会定例会藤里町義務教育学校 工事進捗率12.17%
一等米比率は91.6%を確保

令和3年12月議会定例会が12月14日から17日までの4日間にわたり開催され、一般会計補正予算など上程された7案件について原案どおり可決されました。



行政報告

◇新型コロナウイルススワクチン
接種状況と3回目接種

5月15日から毎週土曜日を中心に、集団接種を延べ24日間実施し、10月2日で終了いたしました。

12月1日時点で、町民の対象者全体(2,944人)の個別接種を含めた接種率は、1回目91.4%(2,692人)、2回目90.7%(2,671人)です。

内訳として、65歳以上は1回目92.1%(1,424人)、2回目91.5%(1,416人)で、64歳以下は1回目90.7%(1,268人)、2回目89.7%(1,255人)です。

3回目の接種につきましては、12月から医療従事者への接種を開始することとし、11月26日から、対象者へ接種券を発送しています。

町の集団接種につきましては、2回目の接種日から、原則、おおむね8か月以上経過した方への接種を、3月から開始できるよう準備を進めているところです。

◇「押印見直し」について

本年4月に係長級の職員にて「藤里町押印見直し推進チーム」を立ち上げ、押印廃止の基本方針を定め、町民の方が提出する書類には、あらかじめ印字してある記名や、ゴム印、代筆等により手続き

できるようにし、どうしても本人の意思表示が必要な、承諾書や同意書などは署名によることとし、署名の代替方法として押印でも可能とすることとしました。

また、年間スケジュールも検討し、3回の会議を経て、来年1月からの運用開始が出来るよう進めています。

押印見直しのための洗い出し作業の結果、944件の事務手続きを抽出しましたが、行政側からの通知書などの公印等は対象外とし、精査作業したところ580件の押印見直しリストを作成し、様式改正など例規の改正を進めています。これにより、事務手続きが簡素化され、町民の負担軽減が図られることとなります。

◇農林業関係について

令和3年産米の集荷状況についてですが、JAあきた白神藤里営農センターの11月17日現在における集荷実績によりまして、30kg単位での契約数量、7万3,072個に対し、集荷実績は、7万3,928個(集荷率101.2%)となっています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症に

よる外食産業の需要減少により、民間在庫量の積み上げが例年を大きく上回った結果、JAあきた白神における令和3年産米のあきたこまち概算金額が、昨年度より3千円減少した1万円となり、大変厳しい状況となっています。なお、収量については作況指数103と平年を上回り、1等米比率は91.6%と平年程度でありましたことは、農業者の皆様のきめ細やかな営農努力の賜物であると思うところです。

次に、令和4年産米の需要見通しに關しましては、11月19日に農林水産省が全国における主食用米の適正生産量を675万tとしたことが発表されました。これは、昨年と比較し21万tの大幅な減少となり、面積ベースでは約4万haの減産が必要であると推計されています。これを受けまして、秋田県では、全国生産量における県産米のシェア率や、適正在庫量、直近の販売状況を踏まえ、「県全体の生産の目安」を、前年比1千t減の38万9千tと決定しています。

町の生産数量につきましては、町で算定作業を進め、結果を町農業再生協議会に提示することとしており、その後は、方針作成者であるJAの米販売予定数量と調整しながら、協議会臨時総会の決定を経て、1月頃に「町の生産の目安」として公表する予定です。

一方、畑作物等の生産状況についてですが、10月末現在、ネギの生産量は目標の8.16t、317万8千円に対して、10.48t、368万8千円となり、新たに取り組みが始まった園芸メガ団地整備